

第46回 「個性ある図書館」展示

子どものマナー



挨拶、電話、食事、メールの送り方、公共の場などで、子どものマナーについて困った事はありませんか？子どもはマナーを身につけることで思いやりの心が育ち、周囲の人達と良い人間関係を作っていくことができます。

今回の展示では、子どもへどのようにマナーを教えるのか、マナーについての疑問、覚えさせたいマナーなどを紹介します。

展示期間：2018年12月28日（金）～2019年2月21日（木）

展示場所：鷺宮図書館 5階「個性ある図書館」展示コーナー

中野区立鷺宮図書館

中野区鷺宮 3-22-5 Tel 03-3337-1044

●マナーはなぜ身につけなければいけないの？

マナー（礼儀）というのは、皆が気持ちよく過ごせるようにするための「気遣い」です。マナーが出来ていないからといって罰せられることはありません。しかし、マナーが身につけていないと相手に不快な思いをさせてしまったり、その事が原因で、トラブルに巻き込まれたりする可能性があります。また、マナーは人の印象を決める大事な要素です。そのため、子どものうちから身につけさせ、思いやりがあり、皆から愛される子どもに育ててほしいと思う方が多いのです。

●マナーをどうやって教えるの？

・親が手本となり、子どもに教える

「子は親の背を見て育つ」と言いますが、子どもは親をよく見ています。子どもにマナーを教える時は、まず自分がそのマナーを身につけていることが重要です。子どもは親の振る舞いを見て真似することで、段々とマナーを覚えていきます。

●どんなマナーを教えればよいの？

様々なマナーがありますが、大きく分けて5つのマナーを紹介します。

・挨拶が出来る子どもにする

挨拶をする時は、相手からではなく自分のほうから挨拶させるようにしましょう。相手のほうを見て笑顔で挨拶をすれば、相手も同じように挨拶をしてくれます。また、名前を呼ばれた時は元気に返事をする事も大切です。



・正しい敬語を話せるようにする

子どもが大きくなるにつれ、子どもの行動範囲は広がり、それに伴って家族以外の人と会話することも増えていきます。子どもは段々と、家族や友達と話す時と、初対面の人と話す時とで言葉が違う事に気づいていきます。敬語の第一歩として、学校の先生や初対面の人と会話する時に、文末に「です・ます」や言葉に「お・ご」をつける丁寧語を話すことから始めましょう。「お」「ご」が付かない言葉もありますし、過剰な丁寧語はかえって相手を不快にさせてしまう事もあるので、注意が必要です。その場にあった正しい言葉を身につけさせましょう。

・公共の場でのマナー

○図書館や美術館、博物館

大きな声を出さない、走り回らない、お菓子や飲み物を持ちながら歩かない、この3つを子どもに教えましょう。もし騒いでしまったら、その場所がどういう場所なのかを説明し、マナーを守れないと他の人の迷惑になると子どもに教えましょう。

○商店

お店の物にむやみに触らないように教えましょう。子どもが触り、誤って壊してしまったり、傷を付け、商品としての価値が下がってしまう事もあります。他所の子どもが遠慮なく触っていたものを購入することに、嫌悪感を抱く人もいます。お互いに嫌な気分にならないよう、子どもには商品をむやみに触らせないようにしましょう。

○交通機関

駅のホームで電車を待つ時は、列に並んで待ちます。列の一番後ろに並びましょう。電車への乗り降りは、降りる人が優先となります。車両から降りる人がいなくなったら乗りましょう。電車内では他の人も乗っているため、ふざけたり、騒いだり、走ることはいけません。また、お年寄りが電車に乗ってきた場合は、「どうぞ」と声をかけ、席を譲りましょう。バスの場合も同様です。

○飲食店

お店の人に案内されるまでは入り口で順番を待ちましょう。テーブルにある調味料や楊枝、ナプキンは他の人も利用するため子どもに触らせないようにしましょう。

・友達の家や誰かの家に招かれた場合

子どもが友達の家に行き、遊ぶことがあるかもしれません。よその家では、何かをしたい時は必ずその家の人に声を掛けてから行動するように教えましょう。また、家に入る時には、「おじゃまします」と挨拶をし、案内された部屋以外の所には勝手に行かないよう教えましょう。

・食事のマナー

食事のマナーはしっかり身につけさせたい、と思う親が多いと思います。食事はその場にいる人と楽しく笑顔でおいしく食べることが基本です。その上で食事のマナーを教えると良いでしょう。「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶はきちんとさせましょう。自分が食べ終わったからといって席を立つのはマナー違反です。皆が食べ終わってから席を立つようにしましょう。お箸のマナーは、周りの子が覚え始めたからといって、無理に始めることはなく、子どもの成長に合わせて始めましょう。

してはいけないお箸のマナー

- ・ 刺し箸 箸を料理に刺すこと
- ・ ねぶり箸 箸をなめたり、箸についたご飯をなめて取ろうとすること
- ・ 寄せ箸 食器を手で持たずに、箸で引き寄せたり、動かしたりすること
- ・ 迷い箸 どの料理を食べようか迷って、料理の上で箸をうろうろと動かすこと

出典：『子どもを伸ばす毎日のルール』辰巳 渚／著 PHP 研究所

『こどもマナーとけいご絵じてん』坂東 眞理子、蒲谷 宏／監修 三省堂

『10歳までに身につけたい一生困らない子どものマナー』西出 ひろ子、川道 映里／著 青春出版社

『マンガでわかるお母さんのためのこどものしつけとマナー』鈴木 万亀子／著 シーアンドアール研究所

おすすめ展示図書



『10歳までに身につけたい一生困らない
子どものマナー』

西出 ひろ子／著 青春出版社
請求記号：379.9 二

家でのマナーや外でのマナーなどが、説明文と一緒にイラストで紹介されています。子どもにも読めるよう分かりやすい言葉で書かれているので、親子でマナーを学ぶことができます。



『子どもマナーとけいご絵じてん』
坂東 眞理子、蒲谷 宏／監修 三省堂
請求記号：385.9 コ

日常生活のマナーや友達との付き合い方まで詳しく説明されています。また、敬語に関するのことも詳しく説明されていて、幼児から小学生まで長く使えます。



『日本人のしきたりいろは図鑑』
トキオ・ナレッジ／著 宝島社
請求記号：382.1 二

日常生活や冠婚葬祭、年中行事などの日本のしきたりがイラストと共に詳しく説明されています。日本のしきたり、マナーについて改めて学ぶことができます。

展示図書リスト

このリストのほかにも多数取り揃えております。ぜひ展示コーナーへお立ち寄りください。

| 書名 | 著者名 | 出版社 | 請求記号 | 出版年 |
|------------------------------------|------------|---------|---------|------|
| 深い学びを育てる教室のルール&学校のしつけ | 吉永 幸司 | 小学館 | 375.2 ヨ | 2018 |
| 3~6歳のこれで安心子育てハッピーアドバイス | 明橋 大二 | 1 万年堂出版 | 599 ア | 2017 |
| みんなで考える小学生のマナー | ジュニアマナーズ協会 | メイツ出版 | 385.9 ミ | 2017 |
| マンガでわかるおうちのルール | 横山 浩之 | 小学館 | 379.9 ヨ | 2017 |
| たべかたのえほん | 石田 葉音 | PHP 研究所 | 596 イ | 2017 |
| 武家の躰 子どもの礼儀作法 | 小笠原 敬承斎 | 光文社 | 379.9 オ | 2016 |
| 大人になってこまらないマンガで身につくマナーと礼儀 | 辰巳 渚 | 金の星社 | 385.9 タ | 2016 |
| 日本人なら知っておきたい江戸しぐさ | 越川 禮子 | ロングセラーズ | 385.9 コ | 2015 |
| 日本人の「おもてなし」はなぜ世界一と言われるのか | 森谷 尅久 | ロングセラーズ | 361.5 モ | 2015 |
| スポーツと礼儀で子どもは変わる | 田中 日出男 | 芸術新聞社 | 379.3 タ | 2014 |
| 親子で楽しむ子どもあいさつ塾 | 坂東 眞理子 | 明治書院 | 385.9 バ | 2014 |
| 子どもを“恥をかかない大人”に育てるためのしつけ 10 の基本ルール | 谷垣 友僖榮 | 同文館出版 | 379.9 タ | 2014 |

◆子どもへの注意の仕方、叱り方には気をつけよう

皆さんは子どもを叱る時、どのようにしていますか？人前で子どもを叱ったり注意をすることは、子どもの立場に立てば大変デリケートなことで、トラウマにもなりかねないため、慎重にならなければいけません。その一方で、子どもが他人に迷惑をかけていたら、止めさせるのも親や保護者の役割です。子どもと一緒に外出している時は、子どもが他人に迷惑をかけていないか注意しましょう。

叱るときは、「静かにしなさい！」「大人しくしていなさい！」と言うのではなく、まず周囲の人に「失礼しました」などと言った後、子どもを連れてその場から移動しましょう。そして、人の目が無いところで子どもに注意すると良いでしょう。子どもは、自分のことで親が周囲の人に謝っている姿を見て、悪いことをしてしまったのだと自覚し、「これはしてはいけないことなのだ」とマナーを覚えていきます。



出典：『子どもを伸ばす毎日のルール』辰巳 渚／著 PHP 研究所

『10歳までに身につけたい一生困らない子どものマナー』西出 ひろ子／著 青春出版社

「子どもに身につけさせたいマナー」について調べるには

図書館の資料の調べ方、インターネットを活用した調べ方についてご紹介します。

1 【情報探索のキーワード】効率的な情報検索には、適切なキーワードが必要です。

| | | |
|---------|----|-------|
| マナー | 礼儀 | 江戸しぐさ |
| テーブルマナー | 敬語 | しつけ |
| 子育て | 教育 | 家庭教育 |

2 【基本的な情報源】辞書・事典類でテーマについて基本的な情報を入手しましょう。

| 資料情報 | 請求記号 | 配架場所 |
|----------------|----------|-------|
| 家政学事典 | R590.3 カ | 中央図書館 |
| 現代用語の基礎知識 2017 | 031 ゲ | 鷺宮図書館 |

◎中央図書館では、育児に関する統計や白書を所蔵しています。

| 資料情報 | 請求記号 |
|------------------------|----------|
| 子ども白書 2018 日本子どもを守る会／編 | R369.4 コ |
| 子供・若者白書 平成30年版 内閣府／編 | R367.6 コ |

3 【図書を探す】

●館内所蔵を探す

◎ テーマの棚に行って探す

図書館の本は主題ごとに棚に並んでいるので、請求記号の最初の数字を参考にして同じ主題の本を探すことができます。

| 分類 | 分野 | 分類 | 分野 | 分類 | 分野 |
|-------|-------------|-------|------|-------|---------|
| 379.9 | 家庭教育 しつけ | 385.9 | 礼儀作法 | 596.8 | テーブルマナー |

◎ 中野区立図書館利用者用検索機（OPAC）で探す。

資料のタイトル、著者名、出版社名などから、中野区立図書館所蔵の資料を検索できます。

中野区立図書館のHP <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

中野区立図書館 HP（携帯版） <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/i/>

● 東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す。

◎「東京都立図書館統合検索」 <http://www.library.metro.tokyo.jp/>

● 国内で刊行されている図書を探す。

◎「国立国会図書館サーチ」 <http://www.ndl.go.jp/>

◎「Books.or.jp」 <http://www.books.or.jp/>

国内で発行された入手可能な書籍が検索できます。出版社のホームページやオンライン書店へのリンクもあります。

4 【オンラインデータベースで調べる】

中央図書館では、参考資料コーナーの利用者開放インターネット端末で、以下のデータベースをご利用いただけます。

| データベース | 収録期間と主な内容 |
|---------------|---|
| 官報情報検索サービス | 1947年5月3日から当日までの官報記事の検索 |
| 日経テレコン | 1975年からの日経4紙（経済・産業・金融・流通）の記事 |
| 聞蔵Ⅱビジュアル | 1879年から1999年までの朝日新聞紙面イメージ 1985年から当日までの新聞の記事 ほか |
| MAGAZINE PLUS | 一般誌・総合誌の雑誌記事検索や学術論文 |
| WHO PLUS | 歴史上の人物から現代の人物まで約32万人のプロフィール |
| D1-Law.com | 判例情報、法律の改廃記録、法律判例文献情報 など |

5 【インターネットを利用する】

●中野区の教育関連情報を知る

◎中野区子育てナビ

<http://tokyo-nakano-city.mamafre.jp/>

◎中野区ホームページ> くらし・手続き > 子ども・教育

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/guide/003/index.html>

●教育・マナーについて調べる

◎「子育て・キッズ」 All About Group

https://allabout.co.jp/ch_kids/

◎「育児のまぐまぐ！」 株式会社まぐまぐ

<http://ikuji.mag2.com/>

◎「NPO 法人江戸しぐさ」

<http://edoshigusa.org/>



●「江戸しぐさ」を知ろう！●

皆さんは「江戸しぐさ」という言葉を知っていますか？「江戸しぐさ」とは、江戸時代の商人達のマナーが次第に江戸の町に住む人達に浸透していったものと言われています。当時の江戸は、言葉や生活習慣の異なる人々が全国各地から集まっていた。思いやりの精神を皆で実践してトラブルを未然に防ぎ、争いのない社会を形成していたようです。

●傘かしげ

雨や雪の日、狭い路地などで傘をさしてすれ違う時、傘が相手に当たったり、落ちた滴で相手を濡らさないよう、お互いの傘を人のいない外側に傾けること。当時の番傘や蛇の目傘は、繊細で破れやすく、高価で貴重な物だったため、一本の傘を大切にしていました。このような理由もあり、狭い路地などですれ違う時は当たり前に行っていたようです。



●会釈のまなざし

すれ違いの時にするしぐさで、お互いにさりげなく目であいさつし合うこと。この江戸しぐさは、一期一会の精神が根底にあること、また、「あなたに対して敵意はありませんよ」と、相手を安心させ、万が一のトラブルを未然に防ぐための心遣いでもありました。「目は口ほどにもの言う」という言葉があるように、会釈に伴う優しい眼差しは、その場の雰囲気を一瞬にして和らげる力があります。

●こぶし腰浮かせ

江戸時代、荷物の運搬や人の往来には、乗合船が重要な交通手段でした。乗合船は、現代のバスや電車と違い、1日に何本も出ていませんでした。そのため一人でも多くの人が同じ船に乗れるよう、後から乗ってくる人のために、握りこぶし一つ分腰を浮かせ、目配せして横に移動しました。これを「こぶし腰浮かせ」といいます。これは、一人が行っても意味がありませんが、皆が協力し合って実行することで一人分の新たなスペースが出来ます。席を詰めるよう言われてから行動するより、自分で気づいて速やかに行動した方がお互いに気持ちがいいですね。



出典：『日本人なら知っておきたい江戸しぐさ』越川 禮子／著 ロングセラーズ

『江戸しぐさに学ぶお付き合い術』山内 あやり／著 幻冬舎エデュケーション

『江戸しぐさに学ぶ子どもの「作法（マナー）」』越川 禮子、日本ホスピタリティ推進協会／著 PHP 研究所